

都市再生整備計画 事後評価シート
手柄山中央公園周辺地区

令和7年11月

兵庫県 姫路市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	姫路市	地区名	手柄山中央公園周辺地区		面積	23.7ha			
交付期間	令和元年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	3,176.0百万円	国費率	0.496			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	手柄山中央公園東エントランスゾーン整備事業、ペDESTリアンデッキ整備事業、情報板整備事業									
		提案事業	事業効果分析調査									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	グリーンズローモビリティ社会実験	市内他事業地区において、同様の社会実験を実施予定であり、実験の重複を避けるため事業を削除した。						なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	姫路球場ナイター照明等整備事業、高質歩行空間整備事業	姫路球場の更なる利活用を促進することを目的に開催した。姫路球場利活用促進検討会議において、現状での課題や他球場における事例などを踏まえた検討の結果、「みるスポーツ」の機能強化を図るため、ナイター照明設備とスコアボードの整備の方向性が示されたため事業の追加を行った。						あり		
提案事業		なし										
交付期間の変更	当初	令和元年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
変更	令和元年度～令和6年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	鉄道(山陽電鉄)による公園利用者の増加	%	3.7	H26	4.7	R6	10.4	○	あり なし	東エントランスゾーン(みんなのさくら広場)等整備により、手柄山中央公園周辺の魅力と鉄道駅からのアクセス性が向上したことで、鉄道による来園者の増加に繋がった。	-
	指標2	歩行者の所要時間の短縮	分	3.5	H30	2.0	R6	2.0	○	あり なし	ペDESTリアンデッキの整備により、(都)手柄山線を横断せずに往来が可能となり、中央体育館と姫路球場間の移動所要時間が短縮された。	-
指標3	公園利用者の増加	人/年	1,192,779	H28	1,260,300	R6	1,203,044	△	あり なし	● 新型コロナウイルスの影響で令和2年度に利用者が大きく減少した。その後、利用者は増加し、令和6年度の利用者数はコロナ禍前の水準となるなど、着実に回復している。(参考)みんなのさくら広場利用者数77,000人(R6.4～R7.3の推計値であり、評価値には含まない)	令和8年7月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容											
	実施状況											
	今後の対応方針等											
	モニタリング	実施なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
官民連携による取組	兵庫県福祉のまちづくり条例のチェック&アドバイス制度を活用し、アドバイザーの点検・助言結果を設計に反映させつつ施設を整備した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● ひょうご県民ユニバーサル施設(県民参加型特定施設)として、適切な管理運営に努めていく。			
持続的なまちづくり体制の構築	東エントランスゾーン(みんなのさくら広場)において、地域のまちづくり団体による催しを開催し、にぎわいや憩いの場として機能した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						● 地域のまちづくり団体による催しが今後も開催されるよう、地域との協力体制を継続する。			

様式2-2 地区の概要

手柄山中央公園周辺地区(兵庫県姫路市) 都市構造再編集中支援事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:安全・安心でにぎわいある手柄のまちづくり 目標1:緑豊かで誰もが安全、安心して暮らせるまちづくり 目標2:スポーツを活かした市民交流のまちづくり	鉄道(山陽電鉄)による公園利用者の増加	単位: %	3.7	H26 4.7 R6	10.4 R6
	歩行者の所要時間の短縮	単位: 分	3.5	H30 2.0 R6	2.0 R6
	公園利用者の増加	単位: 人/年	1,192,779	H28 1,260,300 R6	1,203,044 R6



ペDESTリアンデッキ整備



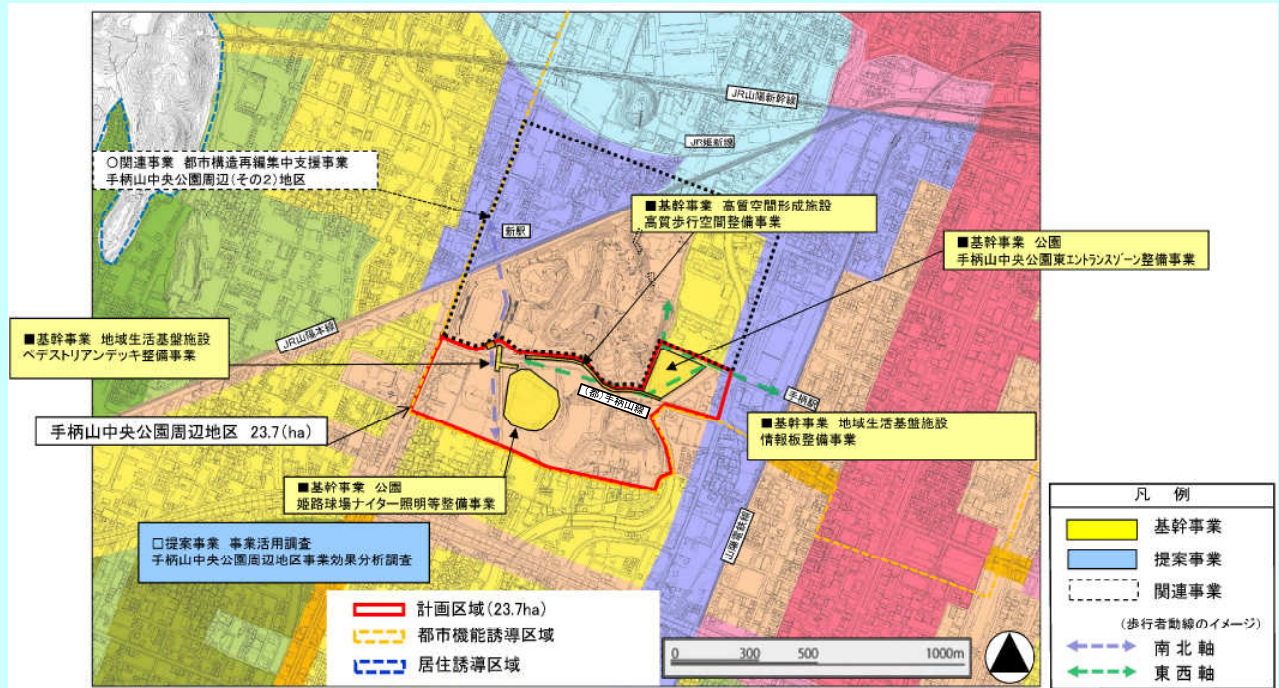
高質歩行空間整備



姫路球場ナイター照明等整備



東エントランスゾーン(みんなのさくら広場)整備



まちの課題の変化

・事業前の課題については、関連事業を含む都市構造再編集中支援事業により、達成や改善がみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ利用者数については回復途上である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

今後は、整備により実現した安心・安全で快適な都市空間を活用し、向上した地区の魅力やまちのにぎわい、交流が継続するよう取り組んでいく。
 ・山陽電鉄と連携し、公共交通利用促進の広報活動を推進する。
 ・地域のまちづくり団体が開催する、催し等を継続できるよう調整し、まちのにぎわいづくりに繋げていく。
 ・姫路球場を含めた既存スポーツ施設において、魅力的なイベントや大会等を誘致し、交流が生まれるまちづくりを行う。
 ・令和8年度に完了予定の本地区に隣接する手柄山中央公園周辺(その2)地区において期待される、整備効果(回遊性の向上、地区全体の魅力のさらなる向上)を本地区にも確実に波及させる。